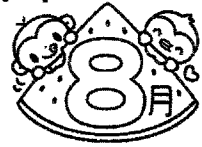


令和3年



★みんななかよし★



★「子育てひろば」や「なかよしひろば」では、生後1か月を過ぎたお子様を参加対象としています。★

☆お茶の時間がありますので、水筒をお持ちください。



〈参加費は無料です〉

☆「なかよしひろば」や「子育てひろば」にあそびに来られる際は、事前に体温(親子共)を計測し、マスクを着用してからあそびに来られてください。また、発熱の場合は利用を控えていただきますようご協力をお願いします。

☆新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、変更等があるかもしれません。詳細は随時「双葉保育園ホームページ」または携帯掲示板「はなまる連絡帳」に掲示いたしますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

◎はなまる連絡帳

<http://h-futaba.renrak.mobi/>

◎双葉保育園のさまざまな情報は

ホームページをご覧ください。

<http://www.futabahoikuen.jp/>



携帯用 QR コード



スキンシップあそび

8月3日(火)

時間) 10:00~11:30

場所) ひれふりランド1階・和室

子どもはお父さんやお母さんと触れ合うことが大好き！
ぎゅ〜っと抱きしめたり、顔や体に触れてくすぐったり、
手足を曲げ伸ばしたりと微笑み合いながらスキンシップ
あそびを楽しみましょう。



新聞紙をビリビリ

8月17日(火)

時間) 10:00~11:30

場所) ひれふりランド1階・和室

新聞紙をクシュクシュと丸めたり、ダイナミックに
ビリビリと音を立てて破ったりして、親子で新聞紙あそ
びを思いきり楽しみましょう。



くっつく魚を作ろう

8月10日(火)

時間) 10:00~11:30

場所) 浜玉町農村環境改善センター
(浜玉町五反田唐津市立玉島小学校の隣)

魚の絵に色を塗って、磁石のついた釣り竿で魚つりをして
あそびましょう。

さあ、たくさん釣れるかな？



風鈴♪チリーン

8月24日(火)

時間) 10:00~11:30

場所) 浜玉町農村環境改善センター
(浜玉町五反田唐津市立玉島小学校の隣)

チリ〜ン♪夏の風物詩・風鈴を作りませんか？
風が吹くとかわいい音が鳴り、心地良い気分になりますよ。



〈いずれも問い合わせ先: 双葉保育園 (担当・坂本) 浜玉町浜崎 TEL56-8385〉



★双葉保育園子育て支援センターからのお知らせ★



●なかよしひろば●



☆新型コロナウイルス感染症の感染防止の為、自粛させていただきます。

●園庭開放●

☆月～金曜日の11時30分～13時まで行っています。

あそびに来られる際は、体温の計測(親子共)と、保護者の方はマスクの着用をお願いします。



●子育て相談●

☆月～金曜日の9時～17時、土曜日の9時～14時まで開設しています。3密を避ける為、電話での御相談のみ受け付けております。御了承ください。

9月の子育てひろば



- ・ 7日(火) ロケット発射ー!
- ・ 14日(火) フワフワ～風船
- ・ 21日(火) シールを貼って
- ・ 28日(火) ごっこあそびを楽しもう

を予定しています。



外遊びの時の熱中症予防



熱中症とは

夏の暑さや湿度の高さなどによって体温を調節する機能が働かなくなり、脱水症状や高体温、めまい、立ちくらみ、吐き気、体がだるい、けいれんなどの症状を引き起こすことです。子どもは体温調節機能がまだ十分に発達していないため、熱中症のリスクが高く、特に注意が必要です。

外遊びの時の熱中症予防のポイント

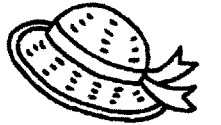
○こまめな水分補給

わたしたちは、軽い脱水症状の時にはのどの渇きを感じません。「のどがかわいた」と感じる前に、こまめに水分をとることが重要です。ふだんは、水や麦茶で水分を補給しましょう。



○帽子や服装

外出時には帽子をかぶります。つばの広いものや後頭部から首にかけて覆いのついたものがよいでしょう。服装は、通気性のよいものや薄い色を選び、熱を吸収する黒色は避けます。暑さに応じて脱ぎ着するようにします。



○適度に休憩する

日陰や涼しい場所で、こまめに休憩します。子どもは身長が低いため、地面からの照り返しの影響を受けやすくなります。おとなが暑いと感じている時は、子どもはさらに高温の環境にいるため、特に注意が必要です。



○おとなが注意深く見る

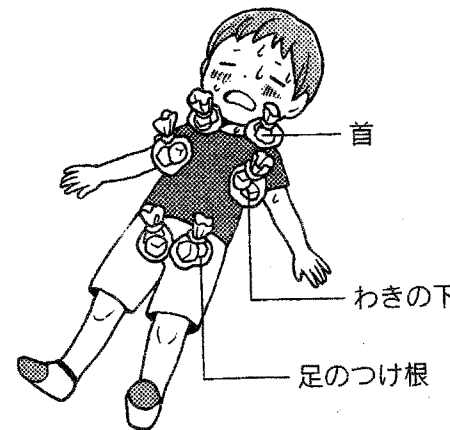
子どもは自らの体調の変化を伝えられないことがあります。また、あそびに夢中で、自分でのどの渇きや体調不良などの熱中症のサインに気づくのが遅くなりがちです。お子さんの様子をよく見て、こまめに水分や休憩をとらせましょう。

熱中症かな? と思った時は



熱中症を疑った時には、風通しのよい日陰や冷房の効いた涼しい室内に移動して、衣服を緩めます。濡らしたタオルを肌当てて、うちわなどであおいで風を送ります。首やわきの下、足の付け根などを冷やすとより効果的です。そして、水分と塩分を補給させます。症状が悪化しないかを注意しながら見守り、必要に応じて医療機関を受診します。

呼びかけに対する返事がおかしい、汗が出ていないなどの場合は救急車を呼び、到着するまでの間、応急手当を続けます。意識がない場合は、無理に水を飲ませてはいけません。



夏場のマスク着用

夏の暑い日にマスクをすると熱中症のリスクが高くなります。また、WHOは、5歳以下の子どもの場合、必ずしもマスクは必要ないとしています。

お子さんがマスクをする時は、息苦しさを感じていないかや、体調などに十分に注意してください。持続的な着用が難しい時は、無理に着用させずに外すようにしてください。

